



アートスパークホールディングス株式会社

2017年12月期 第1四半期

決算説明補足資料

# 目次



## 1.業績ハイライト

1-1.連結損益計算書 . . . . . 2

1-2.連結貸借対照表 . . . . . 3

1-3.事業セグメント別損益の状況 . . . . . 4



## 2.事業セグメント別の概況

2-1.クリエイターサポート事業 . . . . . 5

2-2.UI/UX事業 . . . . . 6



3.今期の主要施策 . . . . . 7



ご質問、お問い合わせ、免責事項等 . . . . . 13

# 1-1.連結損益計算書

単位：千円

|         | 期間比較(1月～3月)            |                        |        | ※ご参考            |
|---------|------------------------|------------------------|--------|-----------------|
|         | 2016年<br>12月期<br>第1四半期 | 2017年<br>12月期<br>第1四半期 | 前年同期比  | 2016年12月期<br>通期 |
| 売 上 高   | 1,083,284              | 840,691                | △22.4% | 3,835,853       |
| 営 業 利 益 | 173,228                | 140,427                | △18.9% | 500,504         |
| 経 常 利 益 | 163,544                | 133,037                | △18.7% | 477,045         |
| 純 利 益   | 132,196                | 127,369                | △3.7%  | 337,150         |

## ■業績の概況

- ・売上高：前年同期242,593千円減少

なお、前第1四半期連結累計期間の売上高1,083,284千円につきましては、前第3四半期累計期間に株式を売却した孫会社株式会社エイチアイ関西の売上高226,493千円が含まれております

このため、既存グループ会社の売上高比較では、16,100千円（前年同期比1.9%減）の減少となります

- ・営業利益：前年同期32,801千円減少
- ・経常利益：営業外費用で支払利息、為替差損の合計5,402千円等により133,037千円の経常利益
- ・純利益：税金費用により127,369千円の純利益

## ■トピック（2017年1月～3月）

- ・ソフトウェアIPを核とした経営に重点、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力

# 1-2.連結貸借対照表

単位：千円

|          | 前連結会計年度末<br>(2016年12月末日) |        | 当連結会計年度第1四半期末<br>(2017年3月末日) |        |          |
|----------|--------------------------|--------|------------------------------|--------|----------|
|          | 金額                       | 構成比    | 金額                           | 構成比    | 前期末増減額   |
| 流動資産     | 2,542,140                | 68.7%  | 2,576,131                    | 69.0%  | 33,991   |
| 固定資産     | 1,156,935                | 31.3%  | 1,157,170                    | 31.0%  | 235      |
| 繰延資産     | 608                      | 0.0%   | —                            | —      | △608     |
| 資産合計     | 3,699,684                | 100.0% | 3,733,301                    | 100.0% | 33,617   |
| 流動負債     | 756,137                  | 20.4%  | 622,268                      | 16.7%  | △133,869 |
| 固定負債     | 145,328                  | 3.9%   | 202,000                      | 5.4%   | 56,672   |
| 負債合計     | 901,466                  | 24.4%  | 824,268                      | 22.1%  | △77,198  |
| 純資産合計    | 2,798,218                | 75.6%  | 2,909,032                    | 77.9%  | 110,814  |
| 負債・純資産合計 | 3,699,684                | 100.0% | 3,733,301                    | 100.0% | 33,617   |

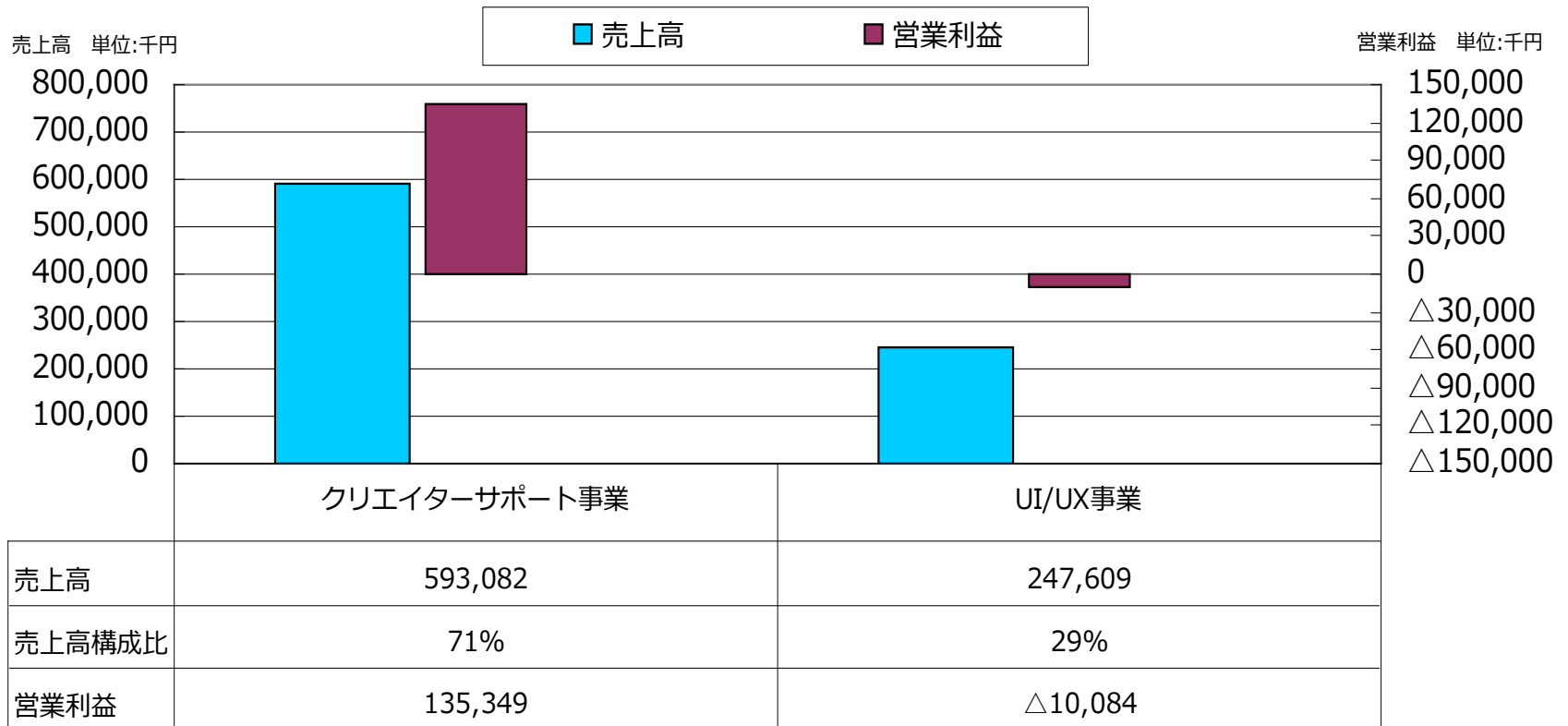
## ■主な増減の内容

・資産の部：売掛金の増加+64,910千円、仕掛品の増加+12,090千円、ソフトウェア仮勘定の増加+89,877千円、現金及び預金の減少-60,405千円、ソフトウェアの減少-97,277千円

・負債の部：長期借入金の増加+44,040千円、短期借入金の減少-108,331千円、未払法人税等の減少-12,915千円

・純資産の部：ストックオプション権利行使により資本金・資本剰余金の増加+4,423千円、四半期純利益計上により利益剰余金の増加+107,041千円

# 1-3.事業セグメント別損益の状況



※当第1四半期連結累計期間より、従来の「コンテンツソリューション事業」を「クリエイターサポート事業」に含めました。

- 売上高
  - ・クリエイターサポート事業が9.2%増加、UI／UX事業は孫会社株式の売却の影響により54.2%減少
- 営業損益
  - ・クリエイターサポート事業が69.9%増加、UI／UX事業は売上高の減少により営業損失となる

## 2-1.クリエイターサポート事業

単位：千円

|      | 期間比較(1月～3月)            |                        |       | ※ご参考            |
|------|------------------------|------------------------|-------|-----------------|
|      | 2016年<br>12月期<br>第1四半期 | 2017年<br>12月期<br>第1四半期 | 前年同期比 | 2016年12月期<br>通期 |
| 売上高  | 542,902                | 593,082                | 9.2%  | 2,130,372       |
| 営業損益 | 79,681                 | 135,349                | 69.9% | 195,914         |

※当第1四半期連結累計期間より、従来の「コンテンツソリューション事業」を「クリエイターサポート事業」に含めました。本資料につきましては、変更後の区分に組替えた数値で比較しております。

### ■業績の概要

売上高では、対前年同期で50,180千円の増加となり、営業利益では、対前年同期で55,668千円の増加となりました

### ■トピック（2017年1月～3月）

- ・「CLIP STUDIO PAINT EX」と株式会社スタジオジブリで長年使われてきた、株式会社ドワンゴがオープンソースで公開しているアニメーション制作ソフトウェア「OpenToonz」との連携が可能に
- ・「BS Reader for Browser」が、コマ作品の縦スクロール閲覧に対応、国内電子書籍市場においてトップクラスの利用者数を誇る株式会社アムタスの電子書籍配信サービス「めちゃコミック」で提供が開始

## 2-2.UI/UX事業

単位：千円

|      | 期間比較(1月～3月)            |                        |        | ※ご参考            |
|------|------------------------|------------------------|--------|-----------------|
|      | 2016年<br>12月期<br>第1四半期 | 2017年<br>12月期<br>第1四半期 | 前年同期比  | 2016年12月期<br>通期 |
| 売上高  | 540,382                | 247,609                | △54.2% | 1,705,480       |
| 営業損益 | 83,709                 | △10,084                | —      | 280,666         |

### ■業績の概要

・売上高では、対前年同期292,773千円減少となり、営業損益では、10,084千円の営業損失となりました

なお、本セグメントの前第1四半期連結累計期間の売上高540,382千円につきましては、前第3四半期累計期間に株式を売却した孫会社株式会社エイチアイ関西の売上高226,493千円が含まれております

このため、既存会社の売上高比較では、66,280千円（前年同期比21.1%減）の減少となります

### ■トピックス（2017年1月～3月）

- ・新たに開発した移動体向けの車両情報伝達ソフトウェア「exbeans VI Transfer」を提供開始
- ・東京ビッグサイトで開催された、企業向けの自動車次世代技術展「オートモーティブワールド2017」の「第5回コネクティッド・カー EXPO」に出展、自動車業界における「Tier-1」（一次サプライヤー）メーカーとして、自社IP製品を核とするビジネス創出を推進

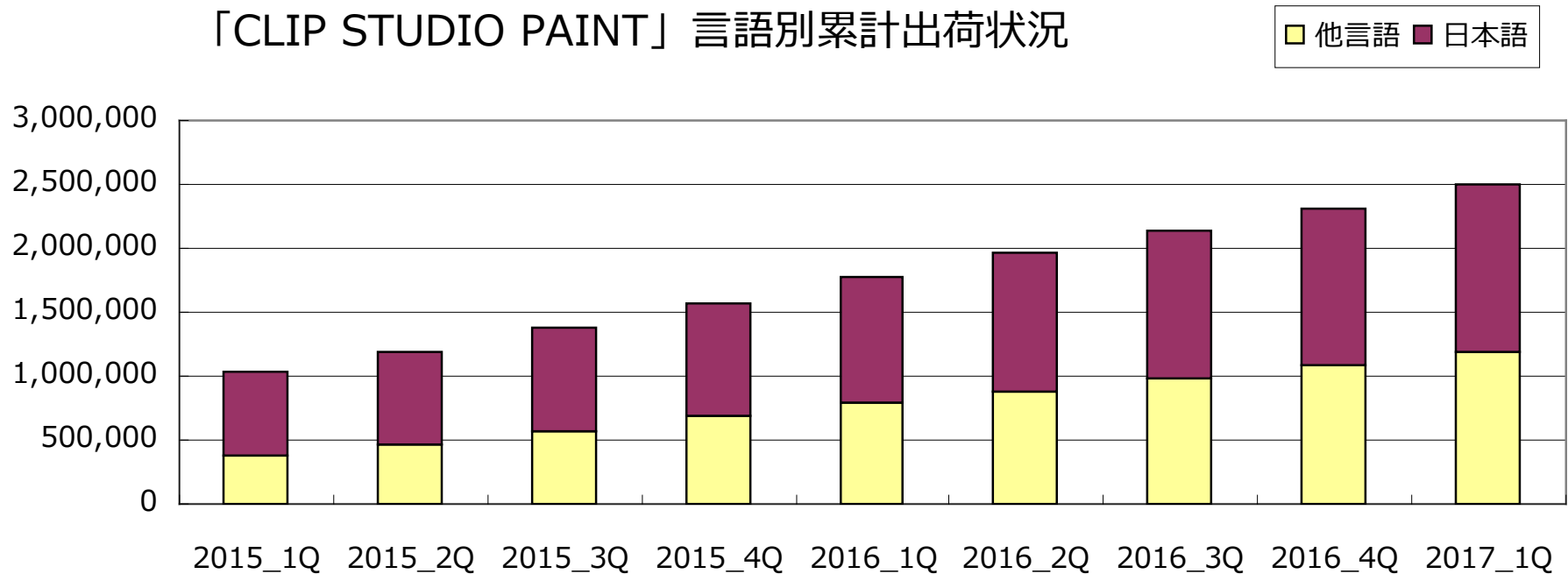
### 3.2017年12月期の主要施策

- 1.ソフトウェアIPを核とした経営に重点
- 2.引き続き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力
- 3.CLIP STUDIOの開発・提供を継続し、グローバル展開を加速
- 4.CLIP STUDIOプラットフォームを活用したコンテンツ制作・流通・再生にまつわるサービスの提供
- 5.自動車を中心とした様々な組込み機器向けにノウハウを集中、ビジネスを強力に推進  
(自社IP製品：UI Conductor、Affinity、VI Transfer等)
- 6.UX向上のための高品質で先進的なUIのデザイン・企画・コンサルティングの提供



### 3-3.CLIP STUDIOグローバル展開を加速

「CLIP STUDIO PAINT」 言語別累計出荷状況



- ・「CLIP STUDIO PAINT」は2013年9月から英語版、繁体字版、2014年7月からフランス語版、スペイン語版、2016年5月から韓国語版をリリースし、多言語に対応
- ・BCN AWARD 2017受賞、3年連続でグラフィックスソフト部門のNo.1メーカーに
- ・「CLIP STUDIO PAINT」の累計出荷本数が全世界で250万本を突破
- ・創作応援サイト「CLIP STUDIO」の登録者数は81万人を突破（3月末時点）

## 3-4.CLIP STUDIOプラットフォームを活用

クリエイターに必要な”すべて”をつなぐ

ソフトウェア

プロセス

環境

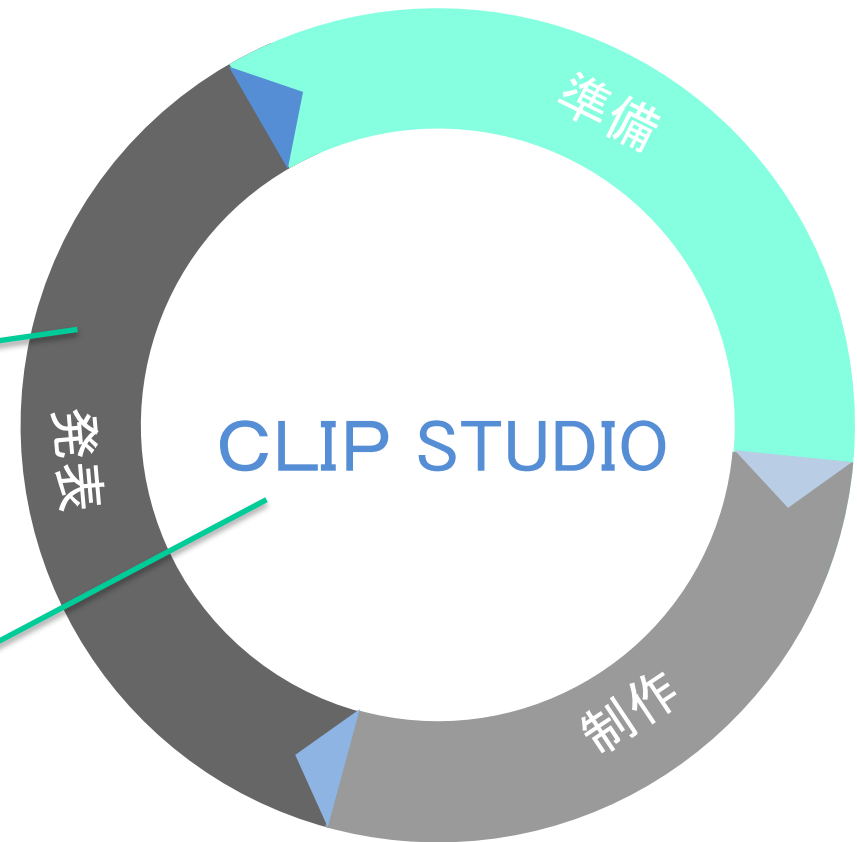
サービス

人

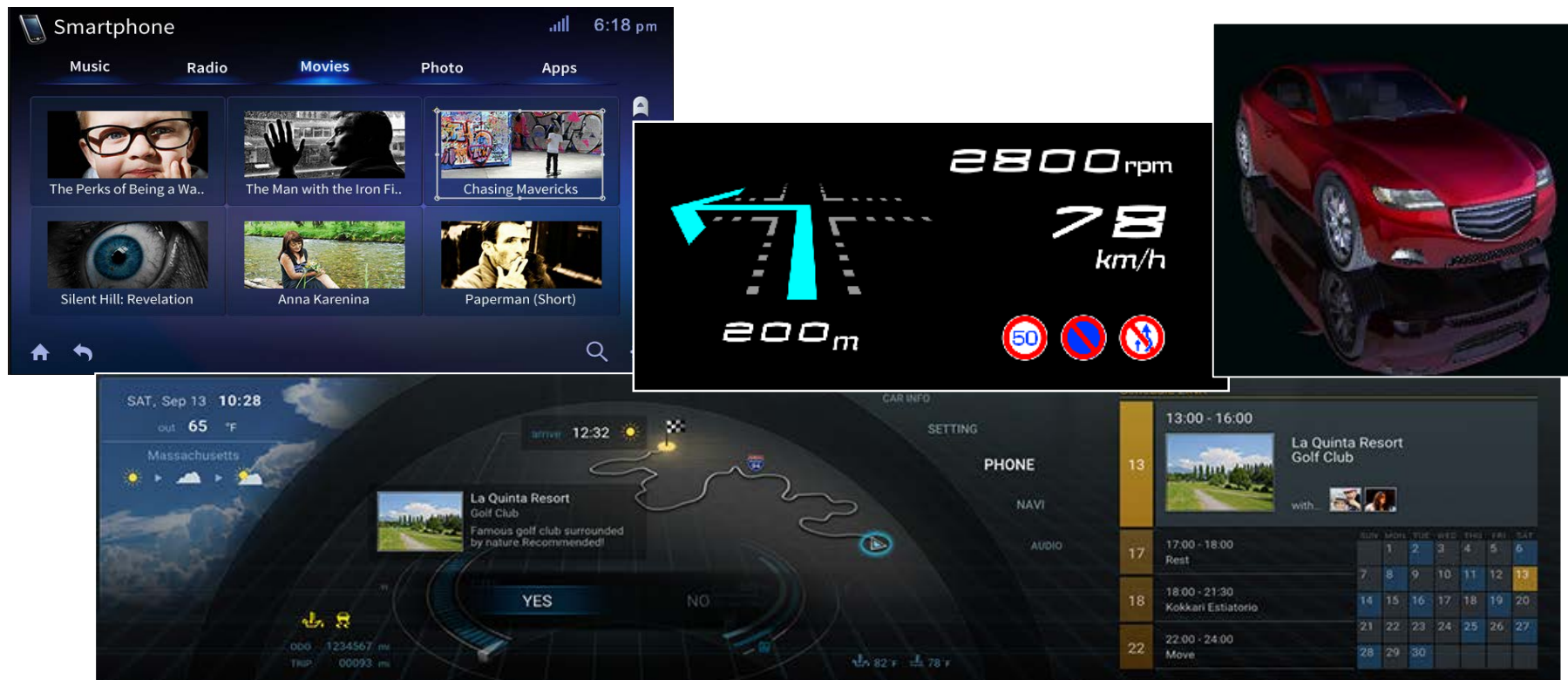
情報・コンテンツ

2D・3D・電子書籍で培った  
ノウハウの融合により、  
クリエイターに新たな価値を提供

全世界・マルチデバイス等  
でユーザーを拡大



## 3-5.exbeans UI Conductor (エックスビーンズ ユーアイ コンダクター)



### 組込HMIを開発するための統合的なソフトウェア群

ツール上で素材配置、インタラクション設定、アニメーション設定をオーサリングした、プロジェクトデータを実装環境上で量産開発することができます。

市場ニーズに応じ、随時バージョンアップを行っており、最新バージョンでは、3D機能の強化とマルチプレビューの対応等の新機能を追加し、UI / UX開発の効率化に貢献できるソフトウェアになっております。

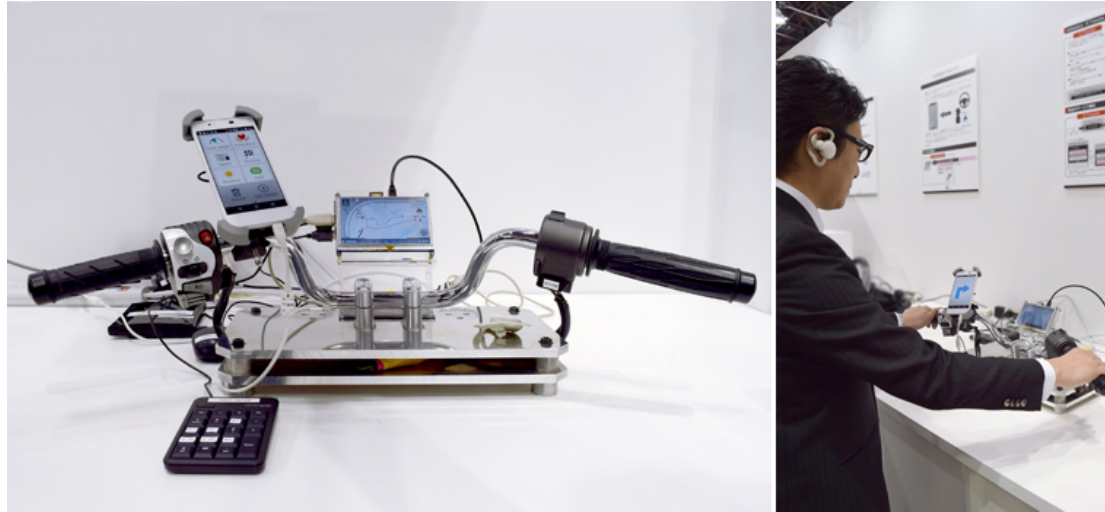
## 3-5. exbeans Affinity (エクスビーンズ アフィニティ)



## Webアプリケーションプラットフォーム

テレマティクスサービス（自動車等に携帯電話等を利用してサービスを提供すること）を始めとした様々なサービスを実現するための汎用ライブラリであり、また柔軟なサービスアプリ開発に耐えられるコアライブラリです。Webアプリケーションプラットフォームとして利用することで、容易に情報配信や更新、情報収集が可能です。

## 3-5. exbeans VI Transfer (エックスビーンズ ブイアイトランスファ)



※イメージ写真になります。(実際の装備はワイヤレス)



### 新たに提供した車両情報伝達ソフトウェア

二輪、四輪をはじめとする車両から得られる情報（CAN情報）を、アプリケーションへ伝達する汎用モジュールであり、アプリケーション側は、取得した情報を利用したサービスを提供することができます。前出の「exbeans Affinity」と組み合わせることで、Affinity上で構築したWebサービスを利用することができます。



**【IR窓口】**

Tel : 03-6820-9590  
Email : [ir@artspark.co.jp](mailto:ir@artspark.co.jp)

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2017年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見/予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。